

1. 「明石らしさ」の整理

関連計画等をもとに、明石の地域特性や明石らしさに関する記述を基に、「明石らしさ」について分析する。

<関連計画における「明石らしさ」>

関連計画	記載事項
明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略 明石市第5次長期総合計画	優れた利便性を持つ都市構造 神戸や大阪など大都市のベッドタウンとして、鉄道駅を中心に商業地と周辺の住宅地が調和した密度の高い良好な市街地が形成されています。 古くから交通の要衝として発展し、JR山陽本線と山陽電鉄のほか、新幹線の停車駅があるなど公共交通機関が充実し、大都市へのアクセス性が非常に高くなっています。 第二神明道路、国道2号、国道250号、県道明石高砂線など、東西に走る道路とともに、内陸部と結ぶ南北道路の整備も進んでいます。
	海をはじめとした恵まれた自然環境 東西約16kmにおよぶ海岸線は希少な砂浜を有し、明石海峡大橋や淡路島などを望む美しい景観を誇る「海峡のまち」です。 明石鯛・明石だこ・明石のりなど新鮮な海の幸は、歴史ある魚の棚商店街とともに「魚のまち」の象徴であり、明石焼（玉子焼）と並んで、全国的なブランドとなっています。 市西部地域を中心に、緑豊かな丘陵や農地が広がり、かんがい用のため池も数多く点在しています。市東部地域には、全国「さくら名所100選の地」に選ばれている明石公園があります。
	住みよい地勢の暮らしやすいまち 東西は最長15.6km、南北は最長9.4kmで東西に細長く、最高地の標高は94.6mと平坦な地勢で、南は瀬戸内海に面しています。 東経135度日本標準時子午線上にあり、阪神都市圏と播磨都市圏に接し、海を隔てて淡路島を望む位置にあります。
	日本の標準時を伝える歴史あるまち 日本の標準時の基準となる東経135度子午線が通る「時のまち」であり、国の登録有形文化財である天文科学館では、日本国内で現役最古、世界でも5番目に古い歴史をもつ大型プラネタリウムが稼働しています。 万葉の歌などにも詠まれ、源氏物語の舞台としても描かれた歴史あるまちです。 江戸時代に築かれた明石城は「日本100名城」に選ばれており、城下町として発展したことから、現在も市街地に寺社が点在しています。
明石市都市計画マスタープラン	明石らしさを感じる空間資源を守り育てる都市づくり ・京阪神から西播磨に至る海岸線で希少な砂浜を有する都市 ・明石城址や西国街道など、残された資源から豊かな歴史・文化 ・海辺は大きな魅力資源
	都市づくりの方針 ・明石らしい魅力資源である「海」
明石市中心市街地活性化基本計画	商業の活性化の必要性（Ⅰ期計画） ・明石らしさである、美しい瀬戸内海に面する本市中心市街地の魅力
	経済活力の向上の必要性（Ⅱ期計画） ・明石らしさである海や食

